

福井県立歴史博物館(1/2)

リニューアルした歴史博物館は 遊びが出る博物館です!!

所在地	福井市大宮2丁目19-15		
設置年月日	昭和59年4月8日 (リニューアルオープン:平成15年3月12日)		
施設の種類	博物館	施設管理主体	県
設置の目的	郷土の歴史、民俗等に関する資料の収集、保管および展示等を行い、もって県民の文化の向上に寄与することを目的とする。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階、延9,044㎡ 展示室(トピックゾーン、歴史ゾーン、オープン収蔵庫)、情報ライブラリー、講堂		
職員数	職員10人(うち研究員7人) アルバイト4人 計14人		

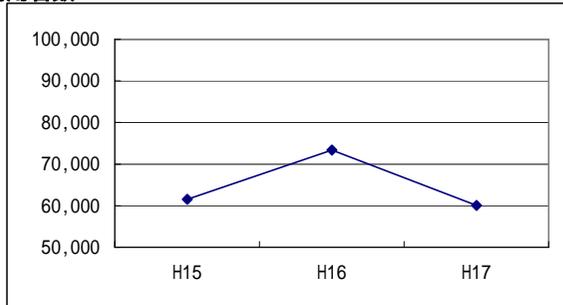
利用状況等

	H15	H16	H17
利用者数(人)	61,558	73,405	60,037

利用者負担(利用料金)等

入館料 (常設展)	一般・大学生	100円
	高校生以下	無料
	70歳以上	無料

利用者数



利用状況の推移

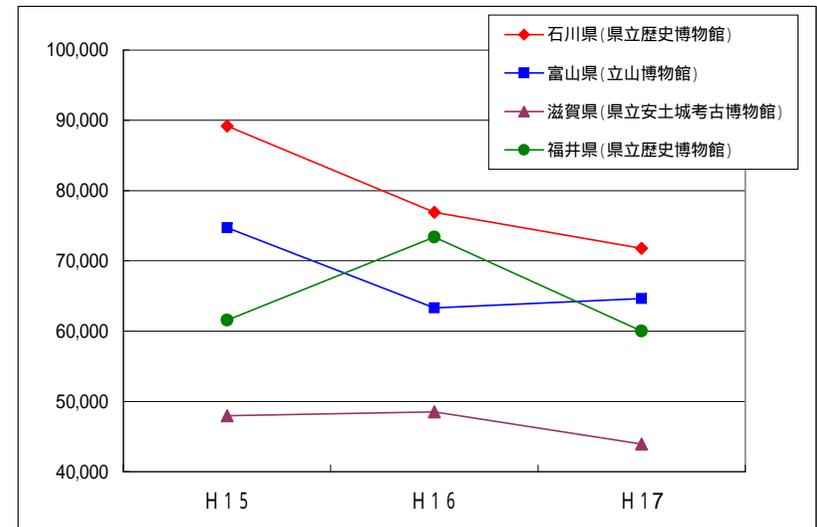
平成15年度はリニューアル初年度で6万1千人の来館者がありました。
平成16年度は秋に開催の特別展「昭和の子どもたち」に1万6千人の来館者があり、年間来館者数は前年度に比べ約20%増の約7万3千人となりました。
平成17年度はリニューアルの効果は薄れ、来館者数は前年比8.2%にとどまりましたが、今後、さらに魅力ある企画展を開催し、来館者の増加に注力していきます。

平成17年度の特徴について

事業実績	展示活動(企画展の実施) 『蓄音機オールデイズ』(平成17.4.24~6.26) 『ピン。展』(平成17.7.21~9.19) 眼鏡産地100周年特別企画『めがねギャラリー~アート&ヒストリー』(平成17.10.20~12.4) 新春企画『わんだふる犬展』(平成18.1.3~2.26) 福井豪雨被災物件展示(平成17.7.16~18.7.5)
	常設展示のフレキシブル展示替え 『昭和のくらし』『歴史ゾーン』.....展示資料の一部変更 『ミュージアムシアター』.....映像資料の入替
	オープン収蔵庫の展示 『姉川合戦図屏風』 企画展資料の一部展示
	調査研究事業 現在のテーマは次のとおり。調査研究後、フレキシブル展示、映像番組制作などに活用 日本海海運関係資料調査(5ヶ年:平成15~19年度) 北海道移住関係資料調査(5ヶ年:平成15~19年度)

利用者数の比較

近郊県の類似博物館の利用者状況(県立、人文系)



福井県立歴史博物館(2/2)

行政コスト計算書(平成17年度)

(単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	96,837	28.8%	92.7%
	退職給与引当金繰入	300	0.1%	-
	計	97,137	28.9%	95.5%
物にかかるコスト	物件費	128,194	38.1%	104.2%
	維持補修費	3,840	1.1%	43.8%
	減価償却費	95,536	28.4%	100.1%
	計	227,570	67.6%	100.1%
その他	公債費(利子)	8,908	2.7%	99.1%
	その他	2,455	0.7%	105.9%
	計	11,363	3.4%	100.5%
合計		336,070	100.0%	98.8%

バランスシート(平成18年3月31日現在)

(単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	4,537,381	固定負債	975,706
投資等	0	流動負債	59,336
流動資産	0	正味資産	3,502,339
計	4,537,381	計	4,537,381



「昭和のくらし」コーナー



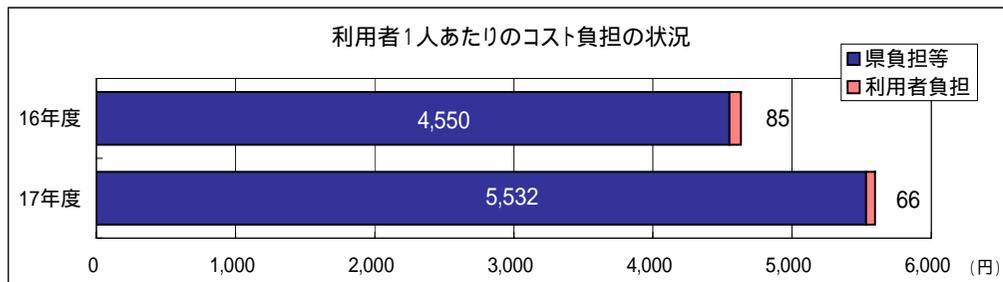
(単位 千円)

収入				
収入	利用料等収入	3,972	1.2%	63.6%
	その他収入	2,060	0.6%	120.4%
	一般財源	330,038	98.2%	99.3%

(前年比)

利用料等収入計	3,972,000 円	63.6%
利用者1人あたり平均利用料	66 円	77.6%
利用者1人あたりコスト	5,598 円	120.8%

利用者1人あたりのコスト負担の状況



施設の特徴

「県立恐竜博物館」の設置に伴い、平成15年3月に「福井県立歴史博物館」と名称を改めて、これまでの総合博物館から人文系の歴史博物館としてリニューアルしました。

特に「モノ」を中心とした展示の採用により、「昭和のくらし」コーナー等に代表されるような気軽に観覧できる環境で歴史文化資料に接することができるようにしたため、従来は敬遠されがちであった若者・高齢者の来館が増加しています。

今後の課題

さらに利用者増を図るため、マスコミやホームページ等を利用した認知度アップへの取組み、リピーター確保のための企画内容の拡充、定期的な資料入れ替え等に取組んでいきます。

今後の事業方針、取組み内容

平成17年度の利用者数は減少しましたが、今後は以下の取組みにより、利用者増を図ります。

企画展開催回数(H17 4回 H18 5回)
 エントランスホールでのミュージアムコンサートの開催
 学校、老人福祉施設等への訪問によるPR活動
 石川県との交流企画として、関連する文化財の見学も組み込んだバスツアーを相互に実施
 企画展に関連した企画の積極的な実施
 白山展では、福井山岳会とタイアップして実際に禅定道の一部を踏破するチャレンジウォークの実施
 公民館等に対し従来のチラシ広報等以外に館における歴史講座等への参加の働きかけ
 福井県博物館協議会公式サイト開設による広報の実施「ふくいミュージアム・スクエア」

バランスシート、行政コスト計算書の特徴

- ・有形固定資産のうち、建物が3,047,076千円と67%を占めています。
- ・有形固定資産には収藏品および映像資料750,225千円を含み、全体の16%を占めています。
- ・利用者1人あたりの平均利用料は、常設展観覧料が無料の高齢者および高校生以下の人数が多いため、低額(66円)となっています。